



芝浦工業大学×津田塾大学×香川大学 学生対流促進事業 『また訪れたくなる小豆島』を実現する 観光サービス創出合同ワークショップ



目的

本ワークショップは、「また訪れたくなる小豆島」を実現する観光サービス創出を目指し開催された。価値観の異なる地方の学生（香川大生）と、東京圏の学生（芝浦工業大学、津田塾大学）が連携し、若者ならではの斬新な観光サービスを創出する。

参加者

参加者は、香川大学および都市圏大学の芝浦工業大学、津田塾大学の3大学で表1のとおり21名の学生が参加した、学年の構成は3年生9名、4年生9名、大学院修士1年1名、大学院修士2年2名であった。グループワーク実施のため、参加者を学年や大学の偏りが出ないように6つのグループに分けた。

表 参加学生内訳

	芝浦工大	津田塾大	香川大	計
観光サービス創出 合同ワークショップ	0名	14名	7名	21名

(注) 芝浦工業大学は学内イベントがあり不参加

日程概要

7月19日（金）	
8:30	香川大到着 アイスブレイク
10:00	高松観光
11:30	昼食（わら屋）
13:40	高松港見
14:30	土庄港着
15:30	入所説明・オリエンテーション
16:00	講演（地域活力推進課 大山部長裕佐、土庄町 笠井主任）
7月20日（土）	
日中	フィールド調査
18:00	アイデア創出ワーク
7月21日（日）	
9:00	成果発表会資料作成
11:00	成果発表会
17:30	土庄港発
18:30	高松港着
20:00	高松駅発（東京へ）



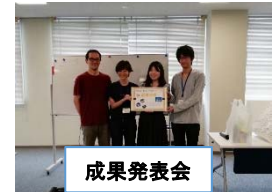
講演（土庄町）



アイデア創出ワーク



成果発表会資料作成



成果発表会

フィールド調査（初日）



フィールド調査（2日目）



アイデア創出ワーク（2日目）



成果発表会（3日目）



成果発表会

提案：ホームステイ支援アプリ
「ごまめりゅうがく」

- ユーザは会員登録
- 対象は、学生（小・中・大）、外国人
- 県民に無条件で提供される
- 県民がそれぞれのアイディアの特色を人々
- ユーザがそれぞれのアイディアの特色を人々
- ホームステイに関する情報は個人間で
- 県民がそれぞれのアイディアの特色を人々

ファミリーパッケージとは

- 子連れ観光客に滞在先、移動手段を提供する



プレスリリース

私たちは初めて小豆島に訪れるレンタサイクルで観光予定の観光客の観光地の難易度がわからない悩みを解決する。これまでの小豆島観光パンフレットとは異なる観光地に対する達成感と心残りを同時に生み出す難易度別パンフレット「オーブナリー」を制作する。それによって、「また訪れたくなる小豆島」を実現する。

学生の声

はじめは、他大学の学生とフィールドワークをおこない、成果発表まで上手く辿り着けるのか不安であった。しかし、実際にフィールドワークをおこない、様々な体験や課題に対する意見やアイデアを出し合うことで打ち解けていくことができた。

今回、普段関わることがない東京圏の学生との交流を通して、自分の物事に対する視野を広げることができた。（香川大4年）